

浜松いわた信金の元専務理事と補助金業務連携

信金OBの行政書士「知見を地域に」

浜松いわた信用金庫とLPガス販売のエネジンは5日、同信金の元専務理事で、現在は行政書士として活動する野田純一さん(73)を交えた意見交換会を浜松市中央区のエネジン本社で行った。野田さんと同社の連携を後押しするほか、退職者を支援する取り組みとしても企画した。

野田さんは2019年に同信金を退職後に行政書士資格を取得。24年4月に同区に事務所を開設した。意見交換会で約20人のエネジンの社員を前に「金融機関に45年勤めた知見を地域に還元したい。幅広く役に立てると思って開業した」と語った。

エネジン社員と意見交換

浜松いわた信金連携後押し

エネジンの社員と意見交換した野田さん（右から2人目）＝浜松市中央区の同社



同社の営業担当者らは、自治体が用意する省エネ関連補助金の申請手続きなどについて質問した。

浜松いわた信用金庫の元専務理事である野田純一さんと、省エネ補助金の申請等の業務連携を行ううえで、行政書士としての役割等、意見交換会を実施しました。エネジン社員は約20名程参加し、今後の連携を深めていく運びとなりました。

令和6年(2024年)6月8日(土) 静岡新聞

